

火の魂ファミリーへ、2016年6月の1ヶ月もお疲れ様でした。
あっという間に今年も後半戦、良いお店を作れるよう力を合わせていきましょう！

今日は、私が好きな話を紹介します。

【象と鎖】

あるサーカスに、子象が連れて来られました。
サーカスでは、子象を飼う時に子象の足を鎖で杭につながります。
逃げられないようにするためです。子象はお母さんに会いたくて鎖から一生懸命逃げようとしますが、どうしても逃げることができません。
子象は頑張りましたが、いつしか「自分の力では鎖から逃げられない」と逃げるのを諦めるようになりました。年月が経ち、あの小さかった子象は身体の大きい立派な象に成長していました。今なら自分をつなぎ止めていた鎖も杭ごと引き抜けるほどの力を付けていました。ところが、今の象の力をもってすれば、その杭を抜いて逃げることは簡単なのですが、象は決して杭を抜こうとしません。子象のころ、何度も杭を抜こうと試みて抜けなかった記憶があるからです。象は昔の記憶に縛られて「その杭を抜くことはできない」と思っているのです。大人になって杭を抜く力が十分ついているにもかかわらず・・・
人間もこの象と同じ。
能力を制限されたままそれに気づいていない人がたくさんいる。

皆も、この子象の様に、自分の可能性を気づかぬうちに、制限をかけていないだろうか？
「自分には出来ない」、「自分には無理だ」と感じている事は、出来ないと思っているだけで、自分を信じてチャレンジすれば実は大抵のことは出来てしまうものです。
我々、火の魂カンパニーは、自分の可能性にチャレンジする集団です。
アルバイトから店長になり、リーダーそして幹部を目指す人も居るし、私と同じ、無職から1年で、私の側近として成長した人も居ます。
自分の人生を、この火の魂カンパニーで変えた人間も少なくはありません。
火の魂カンパニーは、【**なりたい自分に必ずなれる！**】会社です。
やれば必ず出来るから、私たちと一緒にチャレンジしてほしい。
一度きりの人生、何をするかよりも、誰とするかの方が大切だ！
自分の可能性を信じて、火の魂カンパニーで思いっきりチャレンジしていきましょう！